

日本災害復興学会 2017 年度神戸大会で発表しました(2017/9/30-10/1)

テーマ：災害復興

場所：兵庫県立大学神戸商科キャンパス（兵庫県神戸市西区）

9月30日(土)～1日(日)の2日間、「日本災害復興学会2017年度神戸大会」が開催されました（主催：日本災害復興学会）。当研究所からは、佐藤翔輔 助教（情報管理・社会連携部門）が分科会で1件、マリ・エリザベス 助教（人間・社会対応研究部門）、佐藤翔輔 助教、定池祐季 助教（情報管理・社会連携部門）が口頭発表で4件の研究発表を行いました。佐藤翔輔 助教は、被災3県の生活復興に関するセッションの座長もつとめました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

分科会（災害復興におけるKJ法の再考—分析手法と合意形成手法、2つの役割から考える—）

佐藤翔輔（話題提供者）：分析手法・合意形成手法としての事例紹介

口頭発表

佐藤翔輔, 井内加奈子, 松本行真, 今村文彦：宮城県での東日本大震災復興検証に向けた事前調査

定池祐季：奥尻島における災害語り継ぎ

Elizabeth Maly：A Recent Case of Post-Disaster Recovery Support in the United States—New York City’s “Build it Back” Housing Recovery Program after 2012 Superstorm Sandy and NGO Roles—

Lini Ocvenety, Elizabeth Maly et al.：Multi-Family Housing Reconstruction Extension & Livelihood Adaptation after the 2010 Eruption of Mt. Merapi Indonesia—A Case Study of Post-Disaster Housing Recovery in Huntap Dongkelsari (Sleman) Yogyakarta City—

下線は研究所構成員



マリ・リス助教



佐藤翔輔助教

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）